



表紙：化学オリンピック筆記問題から掲載

# 化学と工業 3

CHEMISTRY & CHEMICAL INDUSTRY

Vol.60-3 March 2007

C O N T E N T S



ケニア、草原の  
トムソン・ガゼル  
提供：安達むつみ

- 165 **巻頭言** 科学技術と考古学  
吉村作治
- 169 **論説** 「元素戦略」の推進を  
村井真二
- 171 **OVERVIEW** いま求められる人材育成  
高校科学教育の挑戦
- 176 **お知らせ** 平成18年度日本化学会表彰

## 特集

222

# 支部発 話題欄

日本化学会の中における各分野の最新情報を収集するため、「支部発 話題欄」を設け、各支部から執筆候補者の推薦をお願いして、各分野におけるホットな話題をご執筆いただき会員に提供いたします。

- 1 気体センサータンパク質が特異的に気体分子を認識し、  
応答するメカニズム  
**北海道支部** 内田毅
- 2 多環芳香族炭化水素とナノ炭素構造の振動分光  
**東北支部** 山北佳宏
- 3 超臨界流体を用いる環境調和型有機合成反応  
**関東支部** 松田知子
- 4 有機分子によって保護された金属クラスターの精密合成  
**東海支部** 根岸雄一
- 5 ナノ空間内での高分子合成  
**近畿支部** 植村卓史
- 6 メソポーラスゼオライトの夢  
——高いアルカン分解活性を持つマイクロ-メソ複合多孔体の合成  
**中国四国支部** 片田直伸
- 7 最近の有明海の汚染と浄化技術について  
——マイクロバブルを用いた有明海再生への取り組み  
**九州支部** 氷室昭三



上：東京工業大学附属科学技術高等学校（提供：同校）  
下：SSH活動の1つとして行った沿岸生物の多様性調査（提供：奈良高等学校）

236

## 私の自慢

「有機合成」……低分子から高分子へ  
——均一系金属錯体触媒を用いる精密重合反応の開拓  
野崎京子

239	<b>化学会発</b> 日本化学会 論説について 論説委員会 国際化学オリンピック (IChO) 日本大会 2010 年開催決定！ 化学オリンピック日本委員会・広報小委員会 2007 年度ナカニシプライズ受賞者にテキサス大学教授 Hung-wen Liu 氏を選定 中西基金運営委員会
242	<b>企業だより</b> カネカの太陽光発電への取り組み—薄膜シリコン太陽電池をベースとして— 株式会社カネカ
244	<b>研究の現場から</b> 錯体触媒を用いた石油化学製品の製造プロセス開発 宇都宮 賢
246	<b>支部だより</b> 青少年へ化学実験の楽しさを直接伝える—方策—中学校訪問実験の実施— 東北支部 「化学ミュージアム」が“開館”しました！ 関東支部 静岡大学の公開講座としての「化学実験講座」の取り組み 東海支部 最近の就職活動に思う 近畿支部
250	<b>CCI サロン</b> ケミストの趣味 この人、紹介
252	<b>編集後記</b>
<hr/>	
253	<b>会告</b> (次号予告)
254	お知らせ 行事一覧 講演会・講習会 研究発表会——発表募集 研究発表会——プログラム
<hr/>	
269	<b>掲示板</b>
270	<b>求人・求職</b>
275	<b>第 87 春季年会プログラム</b>
次頁	<b>広告索引</b>

平成 19 年度化工誌編集委員会

委員長：植村 榮 理事：府川伊三郎

委員：青木 純 / 大山俊幸 / 原田和雄 / 俣野善博 / 信田直美 / 高谷 光 / 廣田憲之 / 宮崎あかね / 西村 淳

幹事委員：桐村光太郎 / 中村 聡 / 藤岡 洋 / 松本明子 / 山内 薫

デザイン (株)マツダオフィス